

## 第7回スマートウェイ推進会議 議事要旨

### 1. 開催日時・場所

日時：平成17年7月22日（金） 10:00～12:00

場所：霞ヶ関東京會館（霞ヶ関ビル 35F）ゴールドスタールーム

### 2. 出席者（敬称略）

豊田委員長、石井、岩貞、岡村（代）、川嶋、小枝、児玉（代）、  
坂内、立川、戸澤（代）、永塚（代）、葉山、室城、廻、森地

代理出席の委員は（代）と標記

### 3. 主な意見等

- ・ 共同研究中間とりまとめでは様々な場面での安全性確保にも十分配慮されている。2007年 ITS サービス実現に向けてビーコン整備などを粛々と進めることが重要である。
- ・ 土木インフラの時間感覚は約50年である一方通信インフラの時間感覚は極めて速い。ITSのポテンシャルを十分に理解し、将来も見据えることが重要である。
- ・ 「豊かさ・環境」の視点では、特にスマート IC に期待している。インターチェンジに対する、高速道路周辺の地域からのニーズは高く、整備促進が図られる。
- ・ プロブについては、リアルタイムで活用するものと、環境対策等の観点から静的なデータとして活用するものがある。それぞれ利用者への還元の方法、国・地方自治体への活用の仕方について検討が必要である。
- ・ 車載機の普及は路側機の整備に左右されるので、整備のスピードや地域展開についても検討を進めて欲しい。
- ・ 光ビーコンについては DSRC 同様に、双方向通信が可能で、プロブ・安全運転等に有効なメディア。DSRC と組み合わせてより良い物にしていくことが大切である。
- ・ 駐車場決済サービスは女性や高齢者のメリットが大きいと思う。CO2 排出量・環境負荷削減対策としても、サービスの利用シーンを増やせるよう、多くの施設に展開して欲しい。
- ・ プラットフォームを活用した新たなサービスの展開については、様々な主体がどのように関わり、どのようなサービスが広がっていくかを考えておくべき。
- ・ ITS が着実に進展している。サービスを受ける頻度がキーとなるので 2007 年の後も見据え、着実に進めて欲しい。
- ・ 携帯の普及にみられるように、ユーザーが変わってきている事を踏まえ、検討を進める事が大切である。
- ・ 3つのサービスを2007年の目標にする事は大変良いこと。今後は、全体システムとして、3つのサービスに限定することなく、安全など多様な使い方の可能性を生かしたシステムとして活用出来るようにして欲しい。

以上